

I Love Churui

I ❤ ちゅうるい

12・1

2024 Vol. 552

令和6年
元旦令和6年に営農
を開始する上山
俊亮さん・美奈
さん俊亮さんは辰年
の「年男」
昇り龍のような
活躍に期待です。

Contents



新年挨拶（組合長）	2
新年挨拶（樽井会長）	3
新年挨拶（青年部長）	
謹賀新年	4
JAって何?~今こそ知っておくべき!農業協同組合~最終回	5
役員視察研修	6~7
北海道実践フォーラム	8
農薬空き容器回収	
青年部十勝大会	9
コンプライアンス研修	
献血功労に伴う表彰	10
ピックアップ農協職員	
第11回理事会	11
2023を振り返って	12~13
令和5営農年度12月15日クミカン実績（JA総計）	14~15
普及センター技術情報	16
特殊詐欺・空き巣注意（北海道警察より）	17
生乳生産状況表（11月末）	18
J Aネットワーク十勝の動き	19



年頭のご挨拶



代表理事組合長

黒原 一治

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

組合員の皆様ならびにご家族の皆様におかれましては、輝かしい新年を健康でお迎えのことと存ります。

また、日頃から農協事業運営に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国内初感染から三年以上に渡って猛威を振るつた新型コロナウイルス感染症も五月には五類感染症に移行し、規制緩和が行われるなど、コロナ対策の大きな節目を迎えた。

特に低迷が続いていた旅行産業は訪日外国人旅行者や国内旅行者とともに急増し、関連消費とともに国内経済は活況となつております。

しかし、ウクライナ侵攻や中東紛争によるエネルギー問題、長期化する穀物等の価

格高騰や円安など、われわれ農業者にとつては、一昨年に続き、大変厳しい年となりました。

さらに酪農家おいては、生乳生産の抑制を余儀なくされ、今もなお先が見えない状況が続いております。

一方昨年の作柄は、好天に恵まれ、秋まき小麦は平年作となるなど、他の主要畑作物への期待が高まりましたが、好天は記録的な猛暑をもたらし、徒長傾向にあつた豆類や病害被害を受けた甜菜などを中心に減収となりました。

特産品の百合根をはじめとする青果等についても猛暑の影響で減収傾向となりましたが、市況が堅調となり販売高は平年を上回る結果となりました。

酪農畜産では、生乳の生産抑制が個体販売価格に影響し、依然として価格は低迷しております。また、インバウンド需要による黒毛和牛の引き合いは高まるものの、乳用牛への黒毛和種の受精卵移植が増加し、需要の増加が素牛相場に反映されるまでに至らず、生産者の皆様の努力が報われない状況が続いております。

ここ数年、生産費の増加が著しく、特に酪農では、減産を伴う生産抑制を強いらね、経営を圧迫する厳しい情勢にあります。この難局を乗り切るため、組合員各位の結集と団結する力が改めて必要であると考えております。

結びになりますが、一刻も早い紛争の終結と経済の安定化を願うとともに組合員の皆様とご家族皆様が健康で努力が報われる出来秋が迎えられますことを心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



北海道農業協同組合中央会
会長 樽井 功

令和6年の年頭にあたり

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに對しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、春先は天候に恵まれ地域によつて降雹被害や竜巻の被害が見られたものの、概ね、平年並みに推移しておりました。しかしながら夏場は猛暑による記録的な高温多湿の影響を大きく受け、各作物の生育自体は、全般的に平年よりも早く進んできました。が、各作物等の収量および品質の低下が顕著となる残念な年でした。

新型コロナウイルス感染症の位置付けは昨年5月より5類に移行し、コロナ禍以前の日常を取り戻しつつありますが、各農畜産物の消費は

依然として低迷しており、さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大なものとなっています。さらにこれらの影響を受け、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっています。

現在、日本の食料自給率は38%しかありません。これは、世界の先進国の中で最低の水準であり、6割以上の食べ物を輸入に頼っているのが日本の現状です。食料安全保障の強化が国家の喫緊の課題であることから、我が国の食料供給基地である北海道農業が果たしてきた役割、そして北海道農業への期待は、今後ますます大きくなるものと考えております。

J Aグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組むことが重要であり、国民の命の源である食を守り続けるにも、まさに新しい農業を

築き、未来の世代へ繋いでいく必要があり、行

政や全国連とも連携し、しっかりとその対応を図つて参ります。

今年は、第31回JA北海道大会が開催されます。また、第30回JA北海道大会の実践最終年度であり、決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』

と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の成果をしっかりと検証し、次のJA北海道大会に繋げていく必要があります。このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越えることが重要となります。消費者の皆様に対しても、今まで以上に農業・食に対する理解を求めるため、JAグループ北海道統一の情報発信のフレーズである「アグリアクション北海道」を浸透させ、より効果的な情報発信を行い、JAグループが提唱する「国消国産」の認知を広めて参りましょう。

結びになりますが、本年は辰年です。辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になつて大きく成長し、形がとのう年だといわれています。この謂われにあやかり、本年が豊穣の年となること、皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

JAって何?

今こそ知つておくべき！農業協同組合～ 最終回

J Aが果たすべき役割とは？

2年間にわたって連載してきました「今こそJA」も今回が最終回になります。JAは競争原理ではなく、人と人とのつながりで成り立っている組織であり、組合員の営農と生活を守るために様々な事業を行っていることをお話ししてきました。

二宮尊徳はその教えの中で、徳を以つて徳に報いることの大切さを説いています。これは人々が地域で生きていくためにお互いが助け合うこと＝相互扶助が重要であることをあらわしています。日本は小規模家族経営のままで農業生産力をアップすることに成功した唯一の国と

いわれています。その大きな役割を果たしてきたのが日本の農業協同組合＝総合農協なのです。

しかし、協同組合には欠点もあります。何か物事を決める場合、協同組合は組合員一人一人の意見を聞き、合意をとつて進めることを基本としています

が、このことによつて急激な情勢変化に対応できず、大切な判断が遅れてしまうこともあります。今回の農協改革のような外圧によつて自己改革の機運も高まりましたが、「協同組合だから今のままでいい」ということ

ズにこたえられる組織に自ら変えていかなければなりません。

うか？地域にとつてJAでなければできないことがまだまだたくさんあります。今こそJAが

本において「相互扶助」の大切さを再認識し、なぜ協同組合が生まれたのかという原点に立ち

れば、JAでなければできないことがあります。今こそJAが力を発揮すべき時なのです。

（おわり）

地域コミュニティ





役員視察研修

前編

令和5年11月20日から23日までの間、役員視察研修を実施しました。ご報告いたします。

研修先①－1

『千葉北部酪農農業協同組合』

所在地	千葉県八千代市大和田新田188番地
代表者	代表理事組合長 高橋 憲二
設立	昭和26年12月11日
組合員	27名（酪農：18名 育肥：9名）
職員数	26名（正職員20名）
出資金	175.8百万円
売上高	24億5千万円
販売先	近隣生協、近隣学校給食等



1951年に旧八千代町酪農家を中心に設立された酪農専門農協。昨今の情勢悪化をうけ後継者不在の生産者を中心には離農が相次ぎ、組合戸数は年々減少しています。乳製品の加工販売と牛肉の加工販売が主力であり、八千代牛乳や八千代ビーフ等のブランド化に取り組んでいます。生産者が搾つた生乳の風味をそこなわない殺菌方法である高温短時間法（75℃15秒、H.T.S.T法）の採用や、非遺伝子組み替え原料を用いた指定配合飼料の給与等、付加価値向上に

注力しています。牛乳や乳製品は生協への販売や学校給食への供給を主としていますが、生産者の減少による生乳不足から供給が逼迫。また、牛肉の販売についてもホル牡の慢性的な不足から、同様の供給状況となり改善が求められています。これらの状況に対応すべく、新たに『コントラクター事業』『T.M.Rセンター事業』『肥育事業』の3事業の同時展開を計画。なかでもT.M.Rセンターの設立・運営に向けては、数年前に『青雲T.M.Rセンター』を含む道内のT.M.Rセンターを視察し、北海道酪農の発展に驚愕したとのことでした。新事業展開後の未来に向けた取組として、輸入粗飼料に依存しない国産飼料100%の牛乳・牛肉の生産を目指す『里山プロジェクト』を生協や行政と連携しながら立ち上げる構想となっています。組合長を中心に未来につながる酪農を目指し、首都近郊の立地条件を生かしながら新たな事業展開に取組む積極的な姿勢に学ぶべきものがあると感じました。

研修先①－2

『(有)高秀牧場』



所在地	千葉県いすみ市須賀谷1339-1
代表者	高橋 嘉二
経営面積	23ha（うち自給飼料作付 15ha）
契約栽培	稻WCS（100ha）、飼料米（70ha）
飼養頭数	経産牛110頭、育成牛110頭（うち預託20頭）
従業員	6名
6次化関連	チーズ工房1棟、ヨーグルト工房1棟、直営店1店



いすみ市の畜産団地化事業（70ha・7戸）により、昭和58年に創業。自給飼料面積が限られているため、地域の水田を活用し稲WCs及び飼料用米を作付け、飼養牛の主食は『米』。これらをエネルギー源とし、酒粕やビール粕、醤油粕などをたんぱく源としています。さらにサツマイモ（紅あずま）の搾りかすを活用する等、都市近郊の立地条件を生かし、様々な食品副産物を利用してきました。現在の国産飼料給与率は85%。組合長自ら国産飼料給率100%を目指し外部環境の変化に依存しない酪農経営に取組んでいました。搾乳牛は対

尻のニューヨークタイストール方式に繫留、乾乳牛は同舎のフリーパーントパドックに飼養。牛舎内には、飼料用米の粉碎機やサイレージを取り出す専用クレーンが設置されていたのが特徴的でした。2011年にチーズ工房、2016年にミルク工房がオープンし、チーズやジエラートの製造販売を中心とした6次化へも積極的に取り組んでいました。種類豊富なジエラートが人気であり、2021年には千葉市内に2号店を開業する等、テレビ番組へも頻繁に取り上げられる地域有数のジエラート店であるとのことです。なんと、乳製品の加工販売額は、生乳販売額に匹敵するらしいです。6次化への取組み以降は、求人時の応募者数や採用後の定着率が増加、また牧場・工房スタッフを問わず従業員の独立を支援し、各々の業種で恒常的に活躍する人材育成に注力しているとのことでした。魅力ある牧場つくりを実践するため、『常に進化、発展』を目指す先進的な牧場でした。

研修先②『JA千葉みらい 農産物直売所しょいかご習志野店』



所在地	千葉県習志野市実粋本郷34-1
売場面積	618m ²
駐車場	160台収容
取扱商品	地元農産物・惣菜料理・寿司類・パン類
その他	店舗に調理施設も併設 千葉県内では千葉店に次ぐ売場面積を誇る JA千葉みらいの農産物直売所

国産農産物を多品種・多數販売、一般的なスーパーでは流通しない珍しい品種や旬の食材、最近注目度の高い西洋野菜なども取り揃えていました。また、野菜や果物の旬や鮮度の見分け方、オススメの調理方法や素材にあつた保存方法等について消費者へアドバイスのできる「食育ソムリエ」と呼ばれるスタッフが常駐しているのが特徴です。開店間もない時間が帯ながら、多くの購買者（特に年齢の高い方々）で混雑していました。生産者（出品者）・購入者も多い地域と推察されますが、その量は十勝管内の直売所には無いスケールと取扱い種類の多さで、「ベジタ」の今後の展開に参考となるものでした。

続きは次号で



令和五年度 JA北海道実践フォーラムの開催

十一月七日（火）ニューオータニイン札幌にて「JA北海道実践フォーラム」が開催されました。

第三十回JA北海道大会の決議事項の「『JA運営の好循環』に向けて対話の成果を実践」の取組事例の発表が行われました。

また、JA全中顧問の中家氏と北海道大学大学院准教授の小林氏による基調講演がそれぞれ行われ、農畜産物の取り巻く情勢や、組合員との対話の重要性



配信にて参加



現地にて参加

など、JAグループ全体の課題について説明をされていました。

当農協は、組合長および青年部長と役職員は現地にて参加し、理事及び監事の役職員は配信にて参加しました。

どちらの会場においても登壇している方のお話を真剣に傾聴しており、これからより良い組合づくりにつながるものとなつたのではないかと思いま

J A 忠類青年部 農薬空容器回収

J A 忠類青年部（部長渡邊貴文）は十一月二十四日（金）に農薬空容器回収を実施しました。

農薬空き容器回収は年に一度環境改善整備として行われております。五名の部員が集まりました。

本年の農薬空容器回収も搬入先を南十勝貨物倉庫（旧松田木材）とし、今年も多く農薬プラス容器と農薬ビニールや段ボール



きれいに分別作業ができました

ルが集まりました。
部員たちは分別を行い、午中に作業を終えることができました。
今回、回収にご協力いただきました組合員の皆様ありがとうございました。

次年度以降同様の回収時期と内容で実施していきたいと考えていますので今後もご協力をお願い致します。

第四十八回 JA十勝青年部大会

令和5年度コンプライアンス研修会開催

十一月二十七日（月）にホテル日航ノースランド帯広で第十七回JA十勝青年部大会が開催されました。

忠類からは計五名が参加しました。

本年は、「JA青年の主張大会」において、忠類から井上洋平さんが出場しました。

農業の道を志した経緯と、就農するためには支えてくれた方々に対する思いを発表し、優秀賞を獲得しました。

その後の懇親会では、「アーモレスリング大会」が実施さ



開会式に参加する部員



大会準優勝者を相手に健闘した杉坂さん（左）



発表をする井上さん

本年度は、第三十回北海道大会で掲げている「活力ある職場づくりの実践に向けた、意識の醸成を高める事」を目的に、十勝管内JAの取組みとして開催されました。



対話にて意見を重ねる職員

職員の自主的なコンプライアンス実践のため、講義の後に对话を重ねる時間が設けられました。

風通しの良い職場に欠かすことのできない積極的なコミュニケーションを意識することで、職場風土を改善し、コンプライアンス違反に繋がった事例を紹介しており、对话の重要性を再認識する良い機会となりました。

忠類からは杉坂一樹さんが出場し、二回戦まで勝ち進むことができました。

懇親会は四年ぶりの実開催ということもあり、会場は大いに盛り上がっていました。



研修会の様子

十一月十七日（金）、JA忠類研修室において、役職員コンプライアンス研修会を開催しました。



**日本赤十字社 献血功労者表彰
「銀色有功章」授与**



鈴木所長より姥原組合長へ授与

J A 忠類では、十五年以上に渡り、日本赤十字社が実施する献血に事務所駐車場を提供、協力を行つてまいりました。その功績により北海道赤十字血液センター帯広出張所 鈴木所長が十一月二十七日(月)に来所され、十五年以上継続した活動に「銀色有功章」の盾を、姥原組合長に授与されました。

**野坂農場へありがとう
忠類フェア開催!**



1袋1回200円とお得!

当初は十時から十二時まででしたが、多くの方から好評をいただいたことにより、時間が十五時まで延長し、実施しました。



**ピックアップ
農協職員**

PICK UP!



**【名前】
守山冬姫 (もりやま かずき)**

**【所属部署・担当】
経済部 生産資材課**

**【入組年】
令和四年四月**

**【趣味・特技】
【皆様へ一言】**

麻雀

**【近況】
小樽旅行に行きました**

**【これから夢や目標】
マニュアル車に乗りたいです**

いつもお世話になつております。まだまだ未熟者ですが、少しでも成長できるよう、何事も全力で取り組みたいと思います。

第十一回 理事会

開催日 令和五年11月24日

付議事項

- 議案第八号 令和六営農年度當農基本方針の策定と諸対策について

報告事項

- 三 整備工場事業の在り方検討について

- 議案第九号 令和六営農年度當農計画の審査方針及び基準について

- 議案第一号 理事会推薦会議委員の選出について

- 議案第十号 令和六営農年度當農計画策定要領の制定と協議日程について

- 一 農産物・生乳生産状況および組合員勘定主計（十一月十五日現在）について
二 令和五年度 乳質自主規制金の使途内容について
三 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業に係る補助金交付決定について
四 固定資産の修繕について
五 十勝酪農畜産対策協議会第五回全体委員会について
六 マネー・ローンダーリング及びテロ資金供与対策に関するアンケートへの対応について

- 議案第三号 資産査定要領の改正について

- 議案第四号 「系統金融機関における総合的な監督指針」の設定について

- 議案第十二号 令和六営農年度農業資材価格の情勢について
議案第十三号 年末手当の支給について

- 議案第五号 令和五年度 経営所得安定対策に係る仮渡金実施要綱について

- 議案第六号 営農計画書策定に伴う簡易貸借対照表作成基準等について

- 議案第七号 不動産担保評価における農地単価の設定につ

協議事項

- 議案第一号 理事会推薦会議委員の選出について

- 一 完全週休二日制度の在り方方針について
二 コントラクター事業施工単価のあり方検討について



忠類神社参道にて青年部員が作成したアイスキャンドルを点灯。大晦日の晩には参拝者にホットミルクを振舞いました。

(1月)



ゆり根の水ようかん「Lilyne」の発売開始。
(8月)



青年部は創立60周年を記念し、福岡県への記念視察を実施 太宰府天満宮にて集合写真を撮りました。

(1月)



忠類ふるさと盆踊り大会が4年ぶりに開催されました。
(8月)



乳製品の消費拡大取組として、酪農部会長及び副部会長と職員で牛乳を美味しく飲む様子を撮影。動画は農水省の公式Youtubeチャンネルにて視聴できます。

(12月)



2023年を ～振り返ってみて～

～今年も様々な事がありました～

写真で一年を振り返ってみました！



幕別町畜産まつりにて和牛の部において忠類が最高位賞をW受賞。(6月)

ファーストブリングアップ蛇の『えび1の37』(和牛の部の経産牛最高位)

ヨッシーアドバンスの「よしそん22の3」(和牛の部の未経産牛最高位)



忠類どんとこいむら祭りが開催されました。

今年も多くの方が足を運んでいました。(10月)



支 出		令和5営農年度実積			令和4~5年度差額		(単位:千円)	
項目	年別	R5実積	R4実積	前年比	前年差額	R5計画	進捗	(差異要因)
50 労賃		840,858	822,982	102%	(+17,876)	874,776	96%	
51 肥料費		445,022	292,453	152%	(+152,569)	432,726	103%	価格高騰↑
52 種苗費		100,135	93,179	107%	(+6,956)	90,982	110%	
53 農薬費		78,097	72,352	107%	(+5,745)	75,669	103%	
54 飼料費		5,635,985	5,735,377	98%	(△99,392)	5,804,297	97%	価格高騰↑
△TMRC		(3,904,994)	(3,890,459)	(100%)	(+14,536)	-	-	
55 養畜費		884,013	924,261	95%	(△40,248)	880,661	100%	
56 素畜費		11,000	11,059	99%	(△59)	11,600	95%	
57 生産資材費		140,129	137,318	102%	(+2,811)	132,428	106%	
58 農業共済掛金		210,315	208,562	100%	(+1,753)	213,116	99%	
59 賃料料金		1,463,789	1,500,313	97%	(△36,524)	1,437,018	102%	
61 修理費		390,479	340,128	114%	(+50,351)	312,268	125%	工賃・部品↑
62 水道光熱費		285,093	277,782	102%	(+7,311)	323,110	88%	
63 営農車両費		286,720	306,885	93%	(△20,164)	297,796	96%	
64 支払利息		50,748	56,038	90%	(△5,290)	64,667	78%	
65 租税公課		108,947	130,977	83%	(△22,030)	128,268	85%	
66 諸負担金		79,677	80,007	99%	(△330)	80,680	99%	
67 その他経営費		217,442	242,099	89%	(△24,658)	213,712	102%	
農業支出		11,228,448	11,231,772	100%	(△3,323)	11,373,774	99%	
△TMRC農業支出		(8,890,488)	(8,793,421)	(101%)	(+97,067)	-	-	
70 農外支出		4	0	0%	(+4)	10	42%	
71 家計費		174,499	187,820	92%	(△13,321)	186,268	94%	
80 貯金共済掛金		352,843	330,511	106%	(+22,332)	314,054	112%	
81 借入金返済		835,440	872,844	95%	(△37,404)	794,943	105%	
82 資産取得		210,225	162,485	129%	(+47,740)	145,071	145%	
83 その他資産		92,999	0	-	(+92,999)	0	-	
支 出 計		12,894,458	12,785,432	101%	(+109,026)	12,814,120	101%	
△TMRC農業支出		(10,438,380)	(10,259,423)	(102%)	(+178,957)	-	-	

預り件数	50件	51件	98%	(△1件)	経費全般が増加傾向のなか肥料価格、飼料価格の高騰が顕著。経営形態を問わず資金繰り悪化が懸念されます。 乳価改定や諸対策による一定の增收効果はあるものの、昨年に続き非常に厳しい経営環境となっております。今一度、営農計画に基づく適正なクミカン運用について宜しくお願いいたします。
預り額	427,215	478,837	89%	(△51,622)	
貸越件数	19件	22件	86%	(△3件)	
貸越額	178,648	189,409	94%	(△10,761)	
差引	+248,567	+289,428		(△40,861)	

令和5営農年度 クミカン実績

令和5年1月1日～令和5年12月15日

収入		令和5営農年度実積			令和4～5年度差額		(単位：千円)	
項目	年別	R5実積	R4実積	前年比	前年差額	R5計画	進捗	(差異要因)
01 麦		18,927	15,017	126%	(+3,910)	19,760	96%	
02 豆類・雑穀		47,680	39,439	120%	(+8,241)	59,190	81%	
03 馬鈴薯		82,006	79,068	103%	(+2,937)	76,370	107%	
04 てん菜		53,405	58,081	91%	(△4,676)	46,710	114%	
05 青果・そ菜		141,329	163,885	86%	(△22,556)	224,970	63%	
06 その他農産物		36,781	28,812	127%	(+7,969)	67,962	54%	
07 過年度産農産物		137,335	146,696	93%	(△9,360)	110,965	124%	
農産収入		517,463	530,998	97%	(△13,535)	605,927	85%	
10 生乳		6,872,661	6,930,992	99%	(△58,331)	6,726,316	102%	乳価↑/生産↓
11 乳用牛		476,708	477,968	99%	(△1,260)	438,640	109%	市場↓/頭数↑
12 肉用牛		147,319	158,915	92%	(△11,596)	170,100	87%	市場↓
13 TMR受入飼料		2,357,405	2,434,195	96%	(△76,790)	2,726,000	86%	価格高騰↑
14 鶏・卵		0	0	0%	(+0)	0	-	
15 その他畜産		1,146	988	116%	(+158)	760	151%	
畜産収入		9,855,239	10,003,058	99%	(△147,819)	10,061,816	98%	
△TMR受入飼料		(7,497,834)	(7,568,863)	(99%)	(△71,029)	(7,335,816)	(102%)	
20 受入共済金		245,832	271,964	90%	(△26,131)	237,862	103%	
21 受入補助金奨励金		528,603	374,826	141%	(+153,777)	563,557	94%	各種諸対策↑
22 受入賃貸料		61,604	88,484	69%	(△26,880)	77,814	79%	
23 農業雑収入		254,575	306,193	83%	(△51,618)	172,933	147%	
農業収入		11,463,317	11,575,523	99%	(△112,207)	11,719,909	98%	
△TMR受入飼料		(9,105,911)	(9,141,328)	(100%)	(△35,417)	(8,993,909)	(101%)	
30 農外収入		102,639	2,602	3943%	(+100,037)	29,362	350%	農地売却
40 資金借入		344,170	729,297	47%	(△385,127)	95,060	362%	SN実行↓
41 資金受入		1,201,248	740,713	162%	(+460,535)	818,505	147%	繰越↑/貯金↑
42 その他負債・資本		31,651	25,743	122%	(+5,908)	17,515	181%	
収入 計		13,143,025	13,073,879	101%	(+69,147)	12,680,351	104%	
△TMR受入飼料		(10,785,620)	(10,639,683)	(101%)	(+145,937)	(9,954,351)	(108%)	
生乳生産量		63,486t	68,722t	92%	(△5,236t)	62,100t	102%	生産抑制↓
(組勘取引)		(61,698t)	(66,975t)	(92%)	(△5,277t)	(60,690t)	(102%)	
乳代単価		111.4円	103.5円	108%	7.9円	110.8円	101%	価格改定↑ (R5.8)
(控除後)		102.0円	94.4円	(108%)	7.6円	(R5.4) 加工向+10円		飲用向+10円 農業収入 -農業支出
		+234,868	+343,751		(△108,883)	+346,135	68%	

乾物摂取量と飼槽の関係



十勝農業改良普及センター十勝南部支所

1 乾物摄取量は十分ですか？

牛の高い健康水準を維持しつつ、安定した出荷乳量を維持するためには、牛にもりもりエサを食べてもらうことが重要です。牛の直近2～6時間の乾物摂取量（DMI）を表す指標としてルーメンの張りを評価するルーメンフィルスコア（RFS）があります。昨年調査を実施したところ、スコアが2以下と採食量が少ない牛が散見される農場がいくつかあります。

採食量が不足すると、無脂固形分率の低下や、体脂肪の分解による肝機能低下が発生しやすくなります。

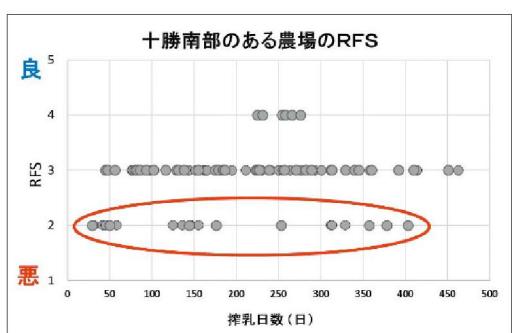


図1 十勝南部のある農場のRFS
 (一般的なスコアは、泌乳初期～中期で3、
 泌乳後期乾乳牛で4)

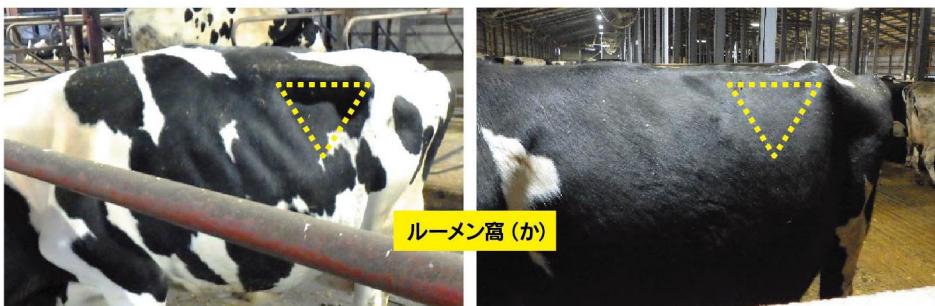


写真1 RFS2（採食量は不足気味）

写真2 RFS4（採食量は多め）

値よりも低い場合は牛が飼槽側に飛び出しやすくなるため注意が必要です。突出幅を35cmにしたい場合は、飼槽隔壁の高さを55～58cmとやや高めにします。また、通路と飼槽の高低差（図2）

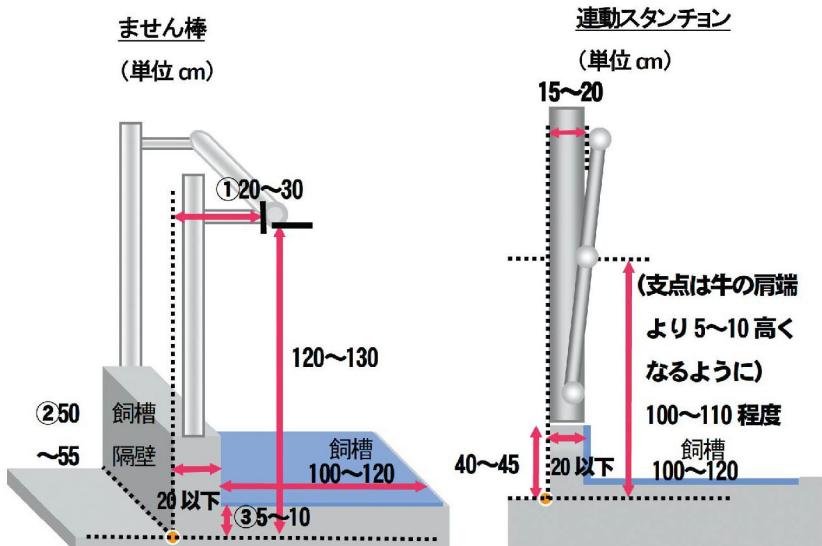


図2 フリーストール 牛舎の飼槽構造の推奨値(成牛)
(MWPS-7、酪農試験場(2007)より推奨値を引用)

RFSの評価方法は、牛の左側の腰椎横突起下部と腰角とろつ骨の間の三角形のルーメン窩の張り具合で評価します（写真1・2）。同じ牛でも評価する時間帯でスコアは変動しますので、継続して確認する場合は同じ時間帯に確認します。

採食量が不足する農場でよく見られるのは牛の首にコブが目立つ場合です。このような農場では、ません棒や運動スタンチョンの取付位置を修正することで採食量を増やす可能性があります。

図2はフリーストール牛舎でのません棒と運動スタンチョンの推奨サイズ（成牛）です。

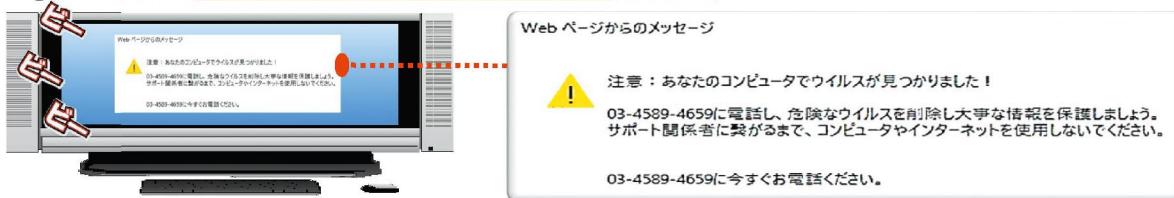
か。
③ が大きくなりすぎると、餌が
給餌通路側へと遠く飛ばされる可
能性が高くなり、餌押しの必要回
数が増加します。

飼槽構造が今よりも推奨値に近
づければ、採食可能範囲は広が
り、餌押しの必要回数も少なくな
ります。農場の省力化と乾物摂取
量の向上を目的に、今一度、飼槽
周辺のサイズを見直してみません

「ウイルス警告+電話番号」

=慌てず、電話せず、再起動！

- ① 画面に警告メッセージと電話番号が表示



- ② 電話をすると、片言の日本語を話す者が対応

アナタノパソコンノ状態、遠隔操作デ確認シマス



- ③ ウイルス除去費用として、電子マネーカードの購入を指示される

ウイルス感染シテイマス。対策ソフト買ッテクダサイ。クレジット番号入力シテクダサイ。

対策方法
① 画面が表示されても慌てない！
② 画面が消えない場合は、ブラウザバック又は再起動する！

一人で悩まず
警察に相談を。
北海道警察 #9110

防犯カメラで 被害防止

犯人は、周囲の目をとても嫌がります。

防犯カメラは「人の目」の代わりに

- ◆ 犯人の行動を24時間撮影
- ◆ 犯行を躊躇させるという抑止効果

があります。

また、防犯カメラの映像は、犯人の検挙につながる重要な手掛かりとなり、事件の早期解決に大きく貢献しています。



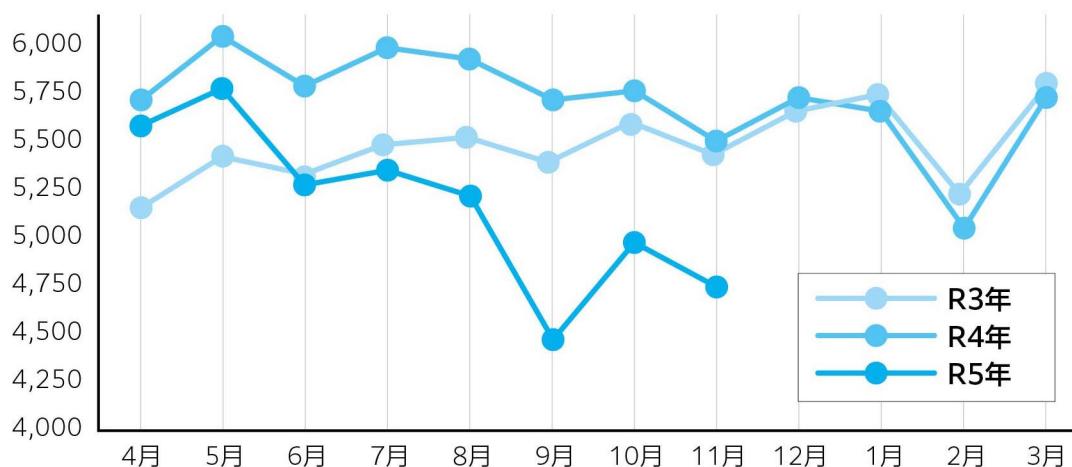
防犯カメラで死角を解消
することにより、犯罪抑止効果
が期待できます。



忠類駐在所 8-2151 警察相談ダイヤル#9110



生乳生産状況表



ホクレン十勝家畜市場だより

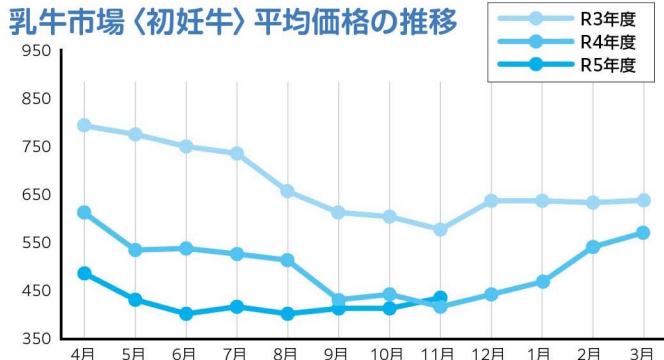
乳牛

- 売買頭数: 883頭 (成立89.8%)
- 平均価格(税込): 436千円 (先月比↑26、前年比↑20)

相場予想

先月の平均価格は、上場頭数は増加するなか、通常の回転需要に加え更新重要な活発化により、保合いで推移した。今月について、上場の一部が春産みとなり、全国的に導入需要が強まることが予測されることから、相場は強含みで推移することが予想される。

乳牛市場〈初妊牛〉平均価格の推移



黒毛和種・F1

結果速報

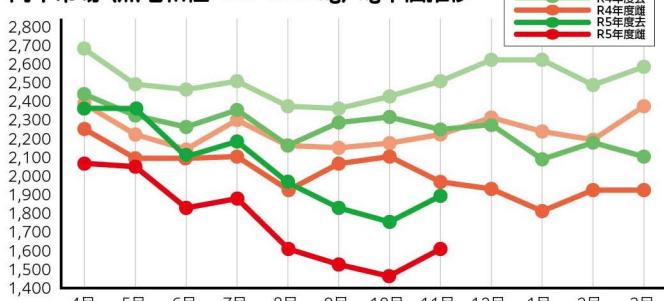
●売買頭数

- 黒毛和種去勢 **1,318頭** (成立92.4%)
- 乳用交雑種去勢 **1,489頭** (成立91.6%)
- 黒毛和種雌 **986頭** (成立94.3%)
- 乳用交雑種雌 **1,268頭** (成立94.1%)

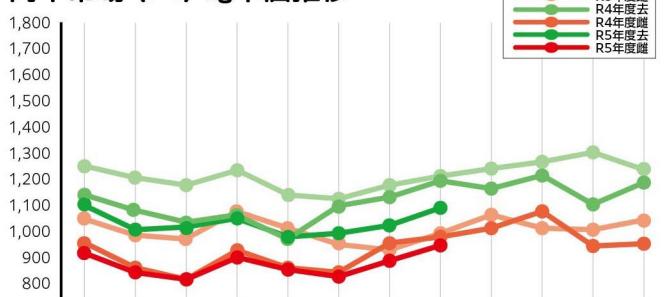
●kg単価

- 黒毛和種去勢 **1,902円** (先月比↑141)
- 乳用交雑種去勢 **995円** (先月比↓40)
- 黒毛和種雌 **1,454円** (先月比↓64)
- 乳用交雑種雌 **900円** (先月比↓57)

肉牛市場〈黒毛和種251-300kg〉kg単価推移



肉牛市場〈F1〉kg単価推移



J Aネットワーク十勝の動き

令和5年12月
J Aネットワーク十勝

組合員の皆様に、ネットワーク事業の推進状況をご報告申し上げます。

1. 生産・販売の強化について

①十勝農業ビジョン2026

令和4年度に策定した「十勝農業ビジョン2026～先進的で持続可能な農業を目指して～」に示した基本姿勢のもと、生産者の農業所得の向上と安全安心で高品質な農畜産物の安定供給に向けて取り組んで参ります。

なお、2022年の管内農協取扱高は夏にかけての多雨・寡照、長引くコロナなどの影響を受ける中、3,494億円となりました。

②十勝ごちそう共和国ブランド事業

会員JAの農畜産物や加工品のPRに向けて、首都圏の駅におけるデジタルサイネージ広告や勝毎花火大会YouTube中継のプレゼント広告を新たに実施したほか、管内ラジオ番組における広告宣伝、ホームページからの情報発信に取り組んでいます。また、今年のとかちマルシェには6JAが参加し物販を行いました。

2. JA運営の強化について

①職員採用支援

J Aにおける人材確保が年々厳しさを増す中、職員採用活動（高卒）に向けた研修会を開催するとともに、民間企業と連携し、中途採用強化に向けた研修会を開催いたしました。

②JA運営の事務効率化・合理化

J A運営の事務効率化・合理化に向けて、将来を見据えたシステム・業務フローのあり方を研究しています。また、今後のJA事業・施設運営、農畜産物の生産・貯蔵・流通に係る新たなJA間連携の必要性等について検討して参ります。



年末・年始のご連絡

年末・年始の業務体制については、下記の通りとなっております。ご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。
なお、12月31日～翌1月3日は本所事務所についても、完全閉所とさせて頂きますのでご理解を願います。

	12/28 木曜日	12/29 金曜日	12/30 土曜日	12/31 日曜日	1/1 月曜日	1/2 火曜日	1/3 水曜日	1/4 木曜日	1/5 金曜日	1/6 土曜日	1/7 日曜日	1/8 月曜日
事務所	平常	平常	平常	休業 閉庁	休業 閉庁	休業 閉庁	休業 閉庁	休業	休業	平常	休業	休業
金融窓口	組勘 最終日	貯金 のみ	休業	休業	休業	休業	休業	平常	平常	休業	休業	休業
ATM	8:45～ 18:00	8:45～ 18:00	8:45～ 17:00	休業	休業	休業	休業	8:45～ 18:00	8:45～ 18:00	8:45～ 17:00	休業	休業
生産資材	平常	平常	平常	休業	休業	休業	休業	休業	休業	平常	休業	休業
給油所	平常	平常	平常	休業	休業	休業	休業	平常	平常	平常	休業	平常
整備工場	平常	平常	平常	休業	休業	休業	休業	休業	休業	平常	休業	休業
生乳事業所	平常	平常	平常	休業	休業	抗生素質 のみ 9:00まで	休業	平常	平常	平常	平常	平常

☆ただし、牛乳検査・バルク故障の対応、資材店舗・給油所については別途詳細をご連絡いたします。

▼12月31日～1月3日は、他の提携金融機関（ゆうちょ銀行、セブン銀行等）にて、ATMの利用ができます。

▼年末年始休業期間中の自動車事故対応について

JJAの休業期間中に自動車事故を起こしてしまった場合には、下記手順にて対応していただく必要がありますので、お知らせ申し上げます。

①**119番** ※負傷者等がいて、救急車が必要なとき～

②**110番** ※事故現場の保存と、状況確認が必要になります～ [車検証・自賠責証書・運転免許証を用意！]

③**共済証書を用意の上、「事故受付センター」に連絡**

ジコハクミアイ

0120-258931 (フリーダイヤル)

※事故発生時の初動対応（事故受付・レッカーカーの手配・レンタカー等）
を24時間対応！

※その後の対応については、事故受付センターからJJA事故処理担当者に
引き継がれ、対応いたします。

フリーダイヤル

0120-258931

※電話料金は無料です。

※携帯電話・PHSからもつながります。